

『第2次大阪府食育推進計画』〔平成24年3月策定〕における
目標値と現状値

1 府民一人ひとりが主体となって取り組む目標

(1) 栄養バランス等に配慮した食生活を送っている府民の割合

第1次計画では、「何を」「どれだけ」食べたらよいかをわかりやすく示した「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている府民の割合を、平成23年度までに60%となるよう、府民に働きかけてきました。

今後は、国から示される「食育ガイド（仮称）」や「食事バランスガイド」、「日本人の食事摂取基準」など科学的根拠に基づいた指針等を活用し、栄養バランス等に配慮した食生活を送っている府民の割合を、平成28年度までに60%となるよう、府民に働きかけていきます。

策定時（平成22年度）15% ⇒ 目標値（平成28年度）60%

[大阪府食育に関するアンケート：食事バランスガイドを毎食参考にしている6.8%、毎日1食は参考にしている8.2%]

現状値（平成25年度）… 19.5%

〔「食育」に関するアンケート(877名に実施)〕

<関連施策>

- 高校生・大学生を対象とした生活習慣病予防対策の取組
(健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 小学校・保育所・幼稚園等における食育支援 (健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 家庭・地域における食育の推進 (健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 外食・流通産業等と連携した食育の推進 (健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 食育情報総合サイト「おおさか食育通信」による情報提供
(健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 食生活改善推進員リーダー研修会 (健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 食育出前講座の実施 (大阪府食生活改善連絡協議会に委託)
- 食事バランスガイド等を活用した普及啓発 (大阪府食生活改善連絡協議会に委託)

<主な啓発イベント等>

- おおさか食育フェスタ 2013
- 野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子推進キャンペーン
(健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子ポスターコンクール
(健康医療部保健医療室健康づくり課)

○ヘルシーメニュー人気コンテスト（大阪ヘルシー外食推進協議会）

○ヘルシー外食フォーラム（大阪ヘルシー外食推進協議会）

○児童福祉施設関係者研修会（福祉部子ども室子育て支援課）

○学校給食食育講演会（公益財団法人大阪府学校給食会）

(2)朝食欠食率

国民健康・栄養調査（国民栄養調査）では、子ども（7～14歳）の朝食欠食率は全国平均を下回っていますが、4.0%（平成14～16年・大阪市を除く）から5.3%（平成19～21年・大阪市を除く）に増加し、目標値の0%に達していないため、今後も引き続き取組をすすめ、最終目標を0%とし、早期に第1次計画策定時の4.0%を下回るよう、府民に働きかけていきます。

また、高校生、大学生等が健全な食生活を実践できるよう、朝食摂取を推進します。

策定時（平成19～21年平均大阪市を含む・高校生・大学生等は平成23年度）

7～14歳

7.4%

⇒ 目標値（平成28年度）4.0%未満

高校生・大学生等 10.6%

〔7～14歳：国民健康・栄養調査、高校生・大学生等：府事業でのアンケート〕

現状値 …7～14歳

9.7%（平成21～23年）

高校生・大学生等

8.3%（平成25年度）

〔7～14歳：H21～23年平均値 国民健康・栄養調査、

高校生・大学生等は平成25年度府事業でのアンケート〕

<関連施策>

- 高校生・大学生を対象とした生活習慣病予防対策の取組

（健康医療部保健医療室健康づくり課）

- 小学校・保育所・幼稚園等における食育支援（健康医療部保健医療室健康づくり課）

- 家庭・地域における食育の推進（健康医療部保健医療室健康づくり課）

- 外食・流通産業等と連携した食育の推進（健康医療部保健医療室健康づくり課）

- 食育情報総合サイト「おおさか食育通信」による情報提供

（健康医療部保健医療室健康づくり課）

- 食生活改善推進員リーダー研修会（健康医療部保健医療室健康づくり課）

- 食育出前講座の実施（大阪府食生活改善連絡協議会に委託）

●食育ヤングリーダー育成支援事業

(健康医療部保健医療室健康づくり課、環境農林水産部農政室推進課、農林水産省近畿農政局大阪地域センター)

●食生活改善推進員リーダー研修会 (健康医療部保健医療室健康づくり課)

●食育出前講座の実施 (大阪府食生活改善連絡協議会に委託)

<主な啓発イベント等>

○おおさか食育フェスタ 2013

○野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子推進キャンペーン

(健康医療部保健医療室健康づくり課)

○野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子ポスターコンクール

(健康医療部保健医療室健康づくり課)

○「マジごはん byOSAKA “ちゃんと食べよか〜”」推進プロジェクト食育ヤング
リーダーフォーラム

(農林水産省近畿農政局大阪地域センター、健康医療部保健医療室健康づくり課、環境農林水産部農政室推進課、
相愛大学)

○ヘルシーメニュー人気コンテスト (大阪ヘルシー外食推進協議会)

○ヘルシー外食フォーラム (大阪ヘルシー外食推進協議会)

○児童福祉施設関係者研修会 (福祉部子ども室子育て支援課)

(3)野菜摂取量 (1日)

国民健康・栄養調査 (国民栄養調査) では、子ども (7~14 歳) の野菜摂取量は 210 g (平成 14~16 年・大阪市を除く) から 224g (平成 19~21 年・大阪市を除く) に増加していますが、目標値の 300g に達していないため、今後も引き続き取組をすすめ、平成 28 年度までに 300g となるよう、府民に働きかけていきます。

また、高校生、大学生等が健全な食生活を実践できるよう、野菜摂取を推進します。

策定時 (平成 19~21 年平均大阪市を含む)

7~14 歳 227 g ⇒ 目標値 (平成 28 年度) 300 g

15~19 歳 253 g 350 g

[国民健康・栄養調査]

現状値 (平成 21~23 年) … 7~14 歳 224 g

15~19 歳 257 g

[H21~23 年平均値 国民健康・栄養調査]

<関連施策>

- 高校生・大学生を対象とした生活習慣病予防対策の取組
(健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 小学校・保育所・幼稚園等における食育支援 (健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 家庭・地域における食育の推進 (健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 外食・流通産業等と連携した食育の推進 (健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 食育情報総合サイト「おおさか食育通信」による情報提供
(健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 食生活改善推進員リーダー研修会 (健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 食育出前講座の実施 (大阪府食生活改善連絡協議会に委託)
- 食育ヤングリーダー育成支援事業
(健康医療部保健医療室健康づくり課、環境農林水産部農政室推進課、農林水産省近畿農政局大阪地域センター)

<主な啓発イベント等>

- おおさか食育フェスタ 2013
- 野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子推進キャンペーン
(健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子ポスターコンクール
(健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 「マジごはん byOSAKA “ちゃんと食べよか〜”」推進プロジェクト食育ヤングリーダーフォーラム
(農林水産省近畿農政局大阪地域センター、健康医療部保健医療室健康づくり課、環境農林水産部農政室推進課、相愛大学)
- 茨木フェスティバルにおいて「キッズ市場」の実施 (大阪府中央卸売市場)
- 「開場 35 周年記念市場まつり」において「食育コーナー」の実施
(大阪府中央卸売市場)
- ヘルシーメニュー人気コンテスト及びヘルシー外食フォーラム
(大阪ヘルシー外食推進協議会)
- 児童福祉施設関係者研修会 (福祉部子ども室子育て支援課)
- おおさか学校給食献立コンテスト (公益財団法人大阪府学校給食会)

(4) 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数

家族揃って食事をする機会が様々な要因で減少していますが、家族との「共食」は、望ましい食習慣の実践や、食の楽しさを実感させ精神的な豊かさをもたらすと考えられます。このため、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）等の推進にも配慮しつつ、朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を、平成 28 年度までに週当たり 10 回となるよう、府民に働きかけていきます。

策定時（平成 23～24 年度）週 9.1 回⇒目標値（平成 28 年度）週 10 回

※第 2 次食育推進基本計画を参考に設定

現状値（平 25 年度）… 週 8.9 回

〔「食育」に関するアンケート（877 名に実施）〕

<関連施策>

- 高校生・大学生を対象とした生活習慣病予防対策の取組

（健康医療部保健医療室健康づくり課）

- 小学校・保育所・幼稚園等における食育支援（健康医療部保健医療室健康づくり課）

- 家庭・地域における食育の推進（健康医療部保健医療室健康づくり課）

- 食育出前講座の実施（大阪府食生活改善連絡協議会に委託）

<主な啓発イベント等>

- おおさか食育フェスタ 2013

- 野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子推進キャンペーン

（健康医療部保健医療室健康づくり課）

(5) メタボリックシンドロームの予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している府民の割合

生活習慣病を予防するには、運動習慣の徹底とともに食生活の改善が重要であることから、第1次計画では、メタボリックシンドロームの内容について知っている府民の割合（認知度）を、平成23年度までに80%とすることを目指し、取組をすすめてきました。その結果、現状値は87%となり目標を達成しました。

今後は、メタボリックシンドロームの予防や改善のための適切な食事、定期的な運動、定期的な体重計測を継続的に実践している府民の割合を、平成28年度までに50%となるよう、府民に働きかけていきます。

策定時（平成23～24年度）29.5%⇒ 目標値（平成28年度）50%

※第2次食育推進基本計画を参考に設定

現状値（平25年度）… 30.3%

〔「食育」に関するアンケート（877名に実施）〕

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防や改善のために、適切な食事、定期的な運動、週に複数回の体重計測、のいずれかを実践して半年以上継続している 30.3%〕

<関連施策>

●高校生・大学生を対象とした生活習慣病予防対策の取組

（健康医療部保健医療室健康づくり課）

●外食・流通産業等と連携した生活習慣病予防対策の取組

（健康医療部保健医療室健康づくり課）

●食育情報総合サイト「おおさか食育通信」による情報提供

（健康医療部保健医療室健康づくり課）

<主な啓発イベント等>

○おおさか食育フェスタ 2013

○野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子推進キャンペーン

（健康医療部保健医療室健康づくり課）

○ヘルシーメニュー人気コンテスト（大阪ヘルシー外食推進協議会）

○ヘルシー外食フォーラム（大阪ヘルシー外食推進協議会）

2 府民と行政及び関係団体が連携して取り組む目標

(1) 食育に関心を持っている府民の割合

食育を府民運動として取り組むためには、まず府民一人ひとりが食育に関心を持っていることが必要であることから、食育に関心を持っている府民の割合を、平成23年度までに95%となるよう、取組をすすめてきましたが、目標に達していないため、今後も引き続き取組をすすめ、平成28年度までに95%となるよう、施策を推進します。

策定時（平成22年度）89% ⇒ 目標値（平成28年度）95%

〔大阪府食育に関するアンケート：食育に関心がある49.9%、どちらかといえば関心がある38.6%〕

現状値（平25年度）… 91.4%

〔「食育」に関するアンケート（877名に実施）

食育に関心がある 54.6% どちらかといえば関心がある 36.8%〕

<関連施策>

● 高校生・大学生を対象とした生活習慣病予防対策の取組

（健康医療部保健医療室健康づくり課）

● 小学校・保育所・幼稚園等における食育支援（健康医療部保健医療室健康づくり課）

● 家庭・地域における食育の推進（健康医療部保健医療室健康づくり課）

● 外食・流通産業等と連携した食育の推進（健康医療部保健医療室健康づくり課）

● 食育情報総合サイト「おおさか食育通信」による情報提供

（健康医療部保健医療室健康づくり課）

● 食生活改善推進員リーダー研修会（健康医療部保健医療室健康づくり課）

● 食育出前講座の実施（大阪府食生活改善連絡協議会に委託）

● 食育ヤングリーダー育成支援事業

（健康医療部保健医療室健康づくり課、環境農林水産部農政室推進課、農林水産省近畿農政局大阪地域センター）

<主な啓発イベント等>

○ おおさか食育フェスタ 2013

○ 野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子推進キャンペーン

（健康医療部保健医療室健康づくり課）

○ 野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子ポスターコンクール

（健康医療部保健医療室健康づくり課）

○「マジごはん byOSAKA “ちゃんと食べよか〜”」推進プロジェクト食育ヤング
リーダーフォーラム

(農林水産省近畿農政局大阪地域センター、健康医療部保健医療室健康づくり課、環境農林水産部農政室推進課、
相愛大学)

○出前パン作り教室 (公益財団法人大阪府学校給食会)

○小学校、幼稚園へのバケツ稲づくりセットの提供などの食農教育への取組

(大阪府農業協同組合中央会)

○地産地消料理講習会の開催 (大阪府農業協同組合中央会)

○体験漁業 (地曳き網体験) (公益財団法人大阪府漁業振興基金)

○食育推進共同事業 (親子料理教室) (公益財団法人大阪府漁業振興基金)

○茨木フェスティバルにおいて「キッズ市場」の実施 (大阪府中央卸売市場)

○「開場 35 周年記念市場まつり」において「食育コーナー」の実施

(大阪府中央卸売市場)

○児童福祉施設関係者研修会 (福祉部子ども室子育て支援課)

(2) よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある府民の割合

府民が健やかで豊かな生活を過ごすためには、十分な口腔機能の発達、維持が必要であり、栄養のみならず、味わいや心のくつろぎにつながる食べ方に関心を持ってもらうことが重要です。このため、よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある府民の割合を、平成 28 年度までに 80%にすることを目指します。

策定時 (平成 23~24 年度) 58%⇒ 目標値 (平成 28 年度) 80%

※第 2 次食育推進基本計画を参考に設定

現状値 (平成 25 年度) … 83%

〔「食育」に関するアンケート (877 名に実施) :

噛み方、味わいといった食べ方に関心がある 43.4%、どちらかといえば関心がある 39.5%〕

<関連施策>

●食育情報総合サイト「おおさか食育通信」による情報提供

(健康医療部保健医療室健康づくり課)

<主な啓発イベント等>

○おおさか食育フェスタ 2013

○野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子推進キャンペーン

(3) 食育推進に携わるボランティアの人数

食育推進に携わるボランティアは、食育の府民運動の重要な担い手であることから、その活動を積極的に支援するとともに、ボランティアの数を平成 23 年度までに 4,100 人にすることを目指し、取組をすすめてきました。

今後も引き続き取組をすすめ、食生活改善推進員及び市町村等において食育推進に携わるボランティアの人数を、平成 28 年度までに 5,300 人にすることを目指します。

策定時（平成 22 年度）4,849 人⇒ 目標値（平成 28 年度）5,300 人

〔大阪府食生活改善連絡協議会及び大阪府保健医療室調べ〕

現状値（平成 25 年度）… 5,491 人

3 行政や関係団体が中心となって取り組む目標

(1) 食の安全性に関する基礎的な知識の普及（リスクコミュニケーションの開催）

府民が安全・安心な食生活を実践するには、氾濫する食品に関する情報の中から正しい情報を選択する力を身に付ける必要があることから、府民向け衛生講習会等の開催、啓発媒体の活用等による広報活動の展開等に積極的に取り組み、食の安全性に関する基礎的な知識を有する府民の割合を把握してきました。基礎的な知識は世代により異なるため、それぞれのライフステージに合わせた内容を一緒に考え、参加することで、知識の普及から実践へとつなげるために、リスクコミュニケーション（双方向の意見交換）手法による啓発の実施回数を、平成 28 年度までに年 6 回に増やします。

また、リスクコミュニケーションの参加者にアンケート等を実施し、理解度等を把握したうえで、より効果的に実施できるよう努めます。

策定時（平成 22 年度）年 2 回 ⇒ 目標値（平成 28 年度）年 6 回

現状値（平成 25 年度）… 年 4 回

<関連施策>

- 食の安全教室「みんなで実践！衛生対策！」（健康医療部食の安全推進課）
- 食の安全教室「学童保育の焼肉教室」（大阪府泉佐野保健所）
- 食の安全安心セミナー「聞いて見て食べて学ぶ食中毒予防！」
（大阪府泉佐野保健所）

<主な啓発イベント等>

- BSE対策の見直しに関する説明会（健康医療部食の安全推進課）
- 食の安全安心シンポジウム（健康医療部食の安全推進課）
- 食の安全安心体験学習会（健康医療部食の安全推進課）
- 食品衛生啓発キャンペーン（健康医療部食の安全推進課）
- '13 食博覧会・大阪において、食の安全安心普及啓発（健康医療部食の安全推進課）
- NOODLE WORLD KANSAI 2013 において、食の安全安心普及啓発、
食中毒予防講習会（健康医療部食の安全推進課）
- おおさか食育フェスタ 2013 において、食中毒予防普及啓発
（健康医療部食の安全推進課）

○ファベックス関西 2013 において、食の安全安心普及啓発

(健康医療部食の安全推進課)

○来て見て体験 in 村野浄水場において、正しい手洗い方法の啓発

(健康医療部食の安全推進課)

○大阪府消費者フェア 2013 において、正しい手洗い方法の啓発

(健康医療部食の安全推進課)

○食の安全安心啓発ポスター・標語コンクール (大阪食品衛生協会)

○児童福祉施設関係者研修会 (福祉部子ども室子育て支援課)

(2) 大阪産（もん）の認知度の向上による地産地消の推進

食に関する関心や理解の増進を図るため、関係団体との連携による食の指導を通じ、子どもや家庭への大阪産農林水産物の理解促進、また飲食店での利用等を推進し、大阪産（もん）の認知度を、平成 28 年度までに 60%にすることを目指します。

策定時（平成 22 年度）46.2% ⇒ 目標値（平成 28 年度）60%

〔大阪府オンリーワン都市調査〕

現状値（平成 25 年度）… 58.1%

<主な啓発イベント等>

- 大阪産（もん）PRイベントの実施（環境農林水産部農政室推進課）
- 「マジごはん byOSAKA “ちゃんと食べよか〜”」推進プロジェクト食育ヤングリーダーフォーラム
（農林水産省近畿農政局大阪地域センター、健康医療部保健医療室健康づくり課、環境農林水産部農政室推進課、相愛大学）
- 小学校、幼稚園へのバケツ稲づくりセットの提供などの食農教育への取組
（大阪府農業協同組合中央会）
- 地産地消ツアーの実施（大阪府農業協同組合中央会）
- 地産地消料理講習会の開催（大阪府農業協同組合中央会）
- 「おおさか食育フェスタ」「マジごはん byOSAKA “ちゃんと食べよか〜”推進プロジェクト」「NHKふるさとの食・につぼんの食フェスティバル」等食育推進イベントへの参加（大阪府農業協同組合中央会）
- 食農教育等の教材本を府内全小学校に贈呈（JAバンク食農教育応援事業）
- 特別支援教育学校等対象の食農教育等の教材本を全府立支援学校等に贈呈
（JAバンク食農教育応援事業）
- 農業体験学習の実施（JAバンク食農教育応援事業）
- 蜜蜂と環境、人とのつながりを考える集い（大阪府養ほう農業協同組合主催）
- 地玉子ふれあい塾（大阪府畜産会・大阪府総合畜産農業協同組合連合会共催）
- 第 12 回 魚庭の海づくり大会（環境農林水産部水産課・大阪府漁業協同組合連合会・地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所）※雨天のため中止
- 第 11 回りんくうタコカーニバル（りんくう沿岸漁業振興連絡会（りんくう5協：樽井漁業協同組合、北中通漁業協同組合、田尻漁業協同組合、泉佐野漁業協同組合、岡田浦漁業協同組合）
- 第 3 回深日漁港ふれあいフェスタ（深日漁業協同組合、岬町商工会）
- 「いかなご」のくぎ煮教室（田尻漁業協同組合）（公益財団法人大阪府漁業振興基金）

○リーフレット「魚庭の魚」「おさかなは元気食」配布

(公益財団法人大阪府漁業振興基金)

○食育推進助成事業 体験漁業（地曳き網体験）等（公益財団法人大阪府漁業振興基金）

○食育推進共同事業（親子料理教室）（公益財団法人大阪府漁業振興基金）

○食育推進助成事業（公益財団法人大阪府学校給食会）

○学校給食献立講習会（公益財団法人大阪府学校給食会）

○茨木フェスティバルにおいて「キッズ市場」の実施（大阪府中央卸売市場）

○「開場 35 周年記念市場まつり」において「食育コーナー」の実施

(大阪府中央卸売市場)

(3) 推進計画を策定している市町村の割合

府民運動として食育を推進するためには、地域における取組を促進させることが重要であることから、推進計画を策定している市町村の割合を、平成 23 年度までに 60%にすることを目指し、取組をすすめてきましたが、目標に達していないため、今後も引き続き取組をすすめ、平成 28 年度までに 100%にすることを目指します。

策定時（平成 23 年度）44% ⇒ 目標値（平成 28 年度）100%

〔大阪府保健医療室調べ〕

現状値（平成 26 年 3 月末予定）… 73.2%

(30 市／41 市町村)

(4) 「食に関する指導」の推進体制が整備されている小・中学校の割合

学校における食育を推進するには、組織的・計画的に教育活動を展開することが重要であることから、各学校における「食に関する指導」を推進する役割を担う「食育推進委員会」などの校内委員会を組織し、校務分掌に位置付けるなど校内組織を充実させる必要があります。

そのため、「食に関する指導」を推進するための組織を明確にしている小・中学校の割合を、平成 28 年度までに 100%にすることを目指します。

策定時（平成 23 年度）76.4% ⇒ 目標値（平成 28 年度）100%

〔大阪府教育委員会調べ〕

現状値（平成 25 年度）… 86.8%

<関連施策>

- 大阪府中学校給食導入促進事業（教育委員会事務局教育振興室保健体育課）
- 新規採用栄養教諭研修、新任栄養教諭研修、栄養教諭・学校栄養職員研修会、学校における食育研修会、学校給食・食育研究協議会等の実施
（教育委員会事務局教育振興室保健体育課）
- 栄養教諭の配置（教育委員会事務局教育振興室保健体育課）

<主な啓発イベント等>

- 栄養教諭支援セミナー（公益財団法人大阪府学校給食会）
- 食育授業個別指導（公益財団法人大阪府学校給食会）
- 学校給食食育講演会（公益財団法人大阪府学校給食会）
- おおさか学校給食献立コンテスト（公益財団法人大阪府学校給食会）
- おおさか食育フェスタ 2013 への参加（公益財団法人大阪府学校給食会）
- 食育推進助成事業（公益財団法人大阪府学校給食会）
- 出前パン作り教室（公益財団法人大阪府学校給食会）
- 学校給食献立講習会（公益財団法人大阪府学校給食会）

(5) 「うちのお店も健康づくり応援団の店」協力店の数

大阪府では、府民の健康づくりに役立つよう、メニューの栄養成分や食事バランスガイドの表示、ヘルシーメニュー（野菜たっぷりメニュー等）の提供などを推進する「うちのお店も健康づくり応援団の店」協力店を、平成 23 年度までに 10,000 店舗にすることを目指し、取組をすすめてきました。今後は、協力店の取組の充実を図るとともに、平成 28 年度までに協力店を 12,000 店舗にすることを目指します。

策定時(平成 24 年度 2 月末)10,232 店舗

⇒ 目標値(平成 28 年度)12,000 店舗

[大阪ヘルシー外食推進協議会調べ]

現状値(平成 26 年 2 月現在) …10,996 店舗

<関連施策>

- 外食・流通産業等と連携した食育の推進 (健康医療部保健医療室健康づくり課)
- 「うちのお店も健康づくり応援団の店」協力店の推進
(健康医療部保健医療室健康づくり課)

<主な啓発イベント等>

- ヘルシーメニュー人気コンテスト (大阪ヘルシー外食推進協議会)
- ヘルシー外食フォーラム (大阪ヘルシー外食推進協議会)
- みどりウォーキング、食と健康フェスタ等イベントにおいて、ヘルシー外食の普及啓発 (大阪ヘルシー外食推進協議会)